

## \*\*\* 春～夏のご報告 \*\*\*

# おさらい会

日々のレッスンの成果を発表する「おさらい会」。長年古澤先生に師事し、いつものびやかにクラリネットを演奏なさる郡様が、今回のおさらい会を振り返りつつお話を聞かせてくださいました。

2023年3月21日 (火・祝)

### ♪人の心に残る演奏を・・・

おさらい会に参加するたびに他の生徒さんの上達に驚きます。私はどうでしょう。自分のことはわかりません。何せ私はレッスンが終わるとその開放感から一週間は楽器に触れません。練習を始めるころにはレッスンで注意されたことなどすっかり忘れている始末です。

またソルフェージュを子供の頃から学んでいないので、音楽の基礎に欠け、感覚で吹いているようなダメな生徒です。

しかし、私には夢があります。

物音一つしないシーンとした静かな場でモーツァルトのクラリネット協奏曲第2楽章アダージョを演奏し始めた古澤先生の「出だし」の音色に魅せられました。この曲に限ったことではなく、スーッとどこからともなく生じる古澤先生のあの音色が私は大好きです。

私の夢は、人の心に残るような個性ある私だけの吹き方を持つことです。 【郡 幸子】



今回、モーツァルトを古澤先生とお二人で演奏してくださいました。先生の音色に魅せられ長く続けてきた郡様のクラリネット。お人柄が伝わる、郡様らしい温かい音色でした。

### ～プログラム～

- |        |          |                                 |
|--------|----------|---------------------------------|
| 1. Pf  | バツハ      | メヌエット イ短調<br>BWV.Anh.120        |
|        | 信長貴富     | 紅茶の時間                           |
| 2. Vn  | ホーマン     | アンダンテ                           |
| 3. Vn  | 鈴木鎮一     | アレグレット                          |
|        | 鈴木鎮一     | 楽しい朝                            |
| 4. Pf  | バツハ      | ミュゼット                           |
| 5. Pf  | バスティン    | 王さまの行進                          |
| 6. Pf  | 田丸信明     | ジャックと大男                         |
| 7. Pf  | ウェッブ     | マズルカ                            |
| 8. Vo  | 保富康午/メラー | ゆかいに歩けば                         |
|        | 倉品正二     | さようなら                           |
| 9. Pf  | ショパン     | ワルツ イ短調 遺作                      |
| 10. Vn | ベリオ      | パレーの情景                          |
| 11. Cl | モーツァルト   | アレグロ/アダージョ/アレグロ<br>KV 487&496より |

# 春のミュージックキャンプ

今春のミュージックキャンプは、残念ながら少人数での開催となりましたが、その分じっくり曲と向き合い、密度の濃い時間となりました。今回、指導に当たった水野先生 (Pf) にキャンプの様子を教えてくださいました。

2023年4月1日 (土)  
～2日 (日)

### ♪アンサンブルの醍醐味♪

今回のミュージックキャンプは、残念ながら参加者がヴァイオリンとピアノのお二人しかおらず、変則的な形で行われました。こうした時、我々が頭を悩ませるのは「課題」です。結局、ピアノの方には、ブラームスのVnソナタ1楽章とベートーヴェンの4手ピアノのためのソナタを、ヴァイオリンには、バツハ・グノーのアヴェマリア、パーセルの2本のヴァイオリンとピアノのためのアンダンテ他を選びました。

ブラームスでは、何気ない和音もその変化に注意するといろいろな色が見えて、曲全体が立体的になることを知りました。Vnパートを妹尾先生に弾いていただき、それもラッキーなことでした。ベートーヴェンは十分な準備がしており、一緒に弾いた私も楽しむことができました。パーセルでは、最初不協和音であったものが、3人で弾いているうちに心地よい響きになる、という楽しい経験もしました。バツハ・グノーでは、お互いに何の約束もせず弾き出したのに、ごく自然な息遣いが生まれ、これこそアンサンブルの醍醐味かと思いました。ぜひ多くの方にこの楽しみを経験していただきたいと思います。

【水野紀子 (スクール講師)】

### 【レッスン曲目】

- |         |                            |
|---------|----------------------------|
| ベートーヴェン | ソナタ Op.6                   |
| パーセル    | 2本のヴァイオリンと<br>ピアノのためのアンダンテ |
| ブラームス   | ソナタ1楽章 Op.78               |
| バツハ・グノー | アヴェ・マリア                    |



# 春のコンサート

2023年4月29日(土・祝)

麗らかな季節に、心地よいホールで音楽を楽しむ春のコンサート。長年ソルフェージュスクールを様々な形でサポートして下さっている坂本様に、今回のコンサートの感想とともに、ソルフェージュスクールで音楽に触れる素晴らしさについてお聞きしました。

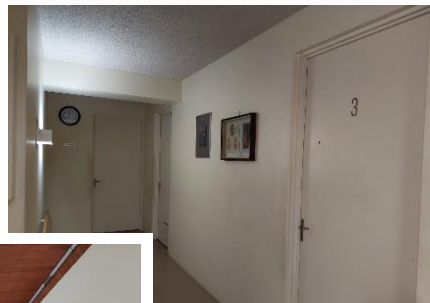
## 音楽のパワースポット

ヨーロッパ諸国の響きを堪能した春のコンサート。ソルフェージュスクールのホールで音楽に浸る喜びは、どれほど立派なコンサートホールでも得られない別格のものがあります。その秘密は校舎(1967年竣工・吉村順三先生の設計)の素晴らしさにあるのではないのでしょうか。たとえば、階段の手摺りが描く曲線のやさしさ(実にいい感じ)。さり気ない間接照明(ホールや2F廊下)。レッスン室の扉ナンバーの味わい深い書体(完成当時のまま!)などなど…音楽教室としての機能を極限まで追求しながら細部の造作にも心を砕く。考え抜かれているのに大仰なパフォーマンスとは無縁…よい音楽と相通ずるものがありますね。本当に特別な場所だと思います。なにしろ信仰に無縁でガサツな私でも、足を踏み入れた瞬間、空間の隅々まで満ちた「恩寵」のようなものを感じてしまうくらいですから。

【坂本桂一】



普段はスクールで生徒の指導に当たっている講師陣が、この日は演奏者としてお客様をお迎え。美しい曲の数々がホールに響き渡り、心地よい空気に満たされます。



スクール2Fの廊下部分(写真上)と、3Fホールへ続く階段(左)。建設当時のままのデザインで、今も生徒やお客様をお迎えしています。音楽と建物が調和した空間で過ごすひとときを、これからどうぞ皆様にお楽しみいただきたいと思います。



古澤先生ご夫妻の演奏で、江原先生がサティのジュトゥヴを歌いました。お越しくださった皆様にも幸せな時間を過ごしていただけたことと思います。

## 【プログラム】

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| ・フォーレ     | 組曲「ドリー」            |
| ・メンデルスゾーン | ピアノトリオ第1番より 1,2楽章  |
| ・アルベニス    | 「イベリア」より エヴォカシオン   |
| ・ファリャ     | 4つのスペイン小品より アンダルーサ |
| ・テンプレートン  | ポケットサイズ・ソナタ No.2   |
| ・ピエルネ     | カンツォネッタ            |
| ・プーランク    | 愛の小径               |
| ・サティ      | ジュトゥヴ              |



# ソルフェージュスクール演奏会

今年の演奏会では、今年度発足した「若者たちのための室内楽クラス」による弦楽合奏がプログラムに加わりました。そのメンバーのおひとり、市村梨理さんが演奏会を通じて学んだことをたくさん語ってくれました。

日本橋公会堂  
2023年6月11日(日)

## ♪演奏会を通じて学んだこと♪

今回、子供から大人まで様々な年代の方々の中で一緒に演奏させていただけてとても楽しかったです。

エキストラとして来られていた東京藝大ご出身の方の隣で弾かせていただき、室内楽で弾く時のさまざまな演奏技法や作曲家による曲の解釈の仕方など、たくさんのおアドバイスをいただいたのでとても勉強になりました。また、練習時に年下の子を私が教える場面もあり、今までそのような経験がなかったのでとても新鮮でした。

今回の曲を通して、「イメージを明確に持つ」ということは本当に大切なことなのだ改めて実感しました。それぞれのパートが単体で動いてしまっとなかなか一つにまとまらない、という

ことがこの曲を演奏する上で一番問題となっていました。お互いの音を聴こうとしてもずれてしまう、そんな時、林先生がこの曲はどのようなイメージか一人ひとりに聞きました。そうしたところ、意外とそれぞれが異なるイメージを持っており、自分にはなかった意見もたくさんありました。皆の意見を聞いたことで、大まかな全体の曲の背景を掴むことができ、そこで改めて弾いてみると音楽が急に一つにまとまって、驚きました。みんな同じ方へ音楽を進めたいと思うことで音楽は一つになるのだと感じました。

また、練習時にコンマスの位置で弾く機会があったのですが、皆をまとめることが思ったよりうまくいかず難しかったです。最初は自分のイメージをもって音楽をひっぱるのがよいと思っていました

が、林先生が「コンマスは指揮者がやりたいことをすばやく感じ取って反応せねばならない」のだとおっしゃったのがとても印象に残っています。自分がやりたいことをそのまま出してしまっただけでは室内楽はできない。自分のやりたいことはしっかり持ちつつ、指揮者がやりたい音楽にいかにか自分を溶け込ませるか、ということこそコンマスは常に考えているのだと感じました。指揮者と音楽を作っていく、そんなことを私もできるようになりたいです。

これから室内楽やオーケストラの中で弾く上で、いろんなパートを経験して、そのパートに一番合う弾き方を学んでいきたいと思っています。また、他のパートをしっかり聴いて、今メロディーがどの楽器にあるのか、また、その楽器を引き立てるためにはどのくらいの音量や音色で演奏すればよいのか研究していきたいです。

今回の演奏会を通じて新しく学んだことがたくさんあるので、より追求し理解を深めたいと思います。

【市村梨理】



↑「若者たちのための室内楽クラス」によるブリテンの Simple Symphony. 結成されてから間もないながら、この演奏会に向けて皆一生懸命練習を重ねました。



↑小さい生徒さんたちも、元気いっぱいリトミックを頑張りました！音符の長さに合わせて駆けまわったり、全身で音楽を楽しみます。



↑最後はラターの合唱で締めくくりました。ラターの曲は去年の60周年記念コンサートでも披露しましたが、その時はまだマスクを着用しての合唱でした。今年はマスクを外して歌声を届けられる喜びを皆で噛みしめながら歌いました。

## 〈プログラム〉

### ♪ピアノ連弾

モーツァルト アイン・クライネ・ナハトムジーク  
ブラームス ワルツ Op.39より

### ♪室内楽

イギリス民謡 Over the Mountains  
イェンナー カルテット3番より 1楽章  
♪うたと打楽器 もみじ、ゆかいに歩けば  
スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドーシャス

### ♪リトミック

#### ♪弦楽合奏 (若者たちのための室内楽クラス)

ブリテン Simple Symphony

#### ♪弦楽合奏 (ソルフェージュスクール室内楽合奏)

コレルリ コンチェルトグロッツ Op.6-1より  
パッハ 組曲第3番より Air (G線上のアリア)

### ♪合唱

ラター 「Anthems」より  
All things bright and beautiful  
For the beauty of the earth

# 夏季合宿 in 軽井沢



2023年8月10日(木)～13日(日)

コロナ禍を経て、3年ぶりに宿泊での合宿が開催されました。ソルフェージュスクールに長きにわたり在籍し、合宿にも長年参加して下さっていた室内楽クラスの小倉康朗さんが、今回数十年ぶりに合宿に復帰し、他では経験しがたいソルフェージュスクールならではの合宿の楽しさについて伝えてくださいました。

## ♪久しぶりの軽井沢合宿へ♪

ソルフェージュの合宿が軽井沢に帰ってきた。ここ何年か軽井沢を離れ、また最近ではコロナ禍のあおりを受けて宿泊自体ができなかったのが、久しぶりの軽井沢合宿であった。私個人にとっても、中学時代からほぼ毎年参加していたものの就職して忙しくなってからはご無沙汰しており、20～30年振りの参加となった。しかし、始まってすぐにあの頃の合宿と同じだと感じた。もちろん参加メンバーや講師の方々の顔ぶれは大きく変わっているのだが、昔からお世話になっている先生方や旧知の友人はもちろん、そ

の日会ったばかりの人々ともずっと一緒に過ごしてきた家族のような気分になれる。4周り近く若い子供たちにも「やっちゃん」とあだ名で呼ばれる。これがソルフェージュであり合宿だと思った。猛暑の東京を離れ、その家族的な雰囲気の中で楽しく充実した合奏や合唱、個人レッスンなど有意義な時間となった。練習の合間に鬼ごっこやテニス、トランプなど、息抜きをする余裕があるのも宿泊イベントならではのと思う。また個人的な話になってしまうが、今回亀井先生に個人レッスンしていただいたことが最大の収穫であった。お疲れにも関わらず、Heifetz 直伝の bowing や fingering、曲の esprit を深夜までかけて教えてくださり、感謝の念に堪えない。加えて講師も生徒もゲストも米国拠点の方が多く、英語が公用語状態。生きた英会話の勉強ができたのも予期せぬ副産物だった。(日本語も通じるのでご心配なく。)

今年は自分のオフと合宿の日程がうまく重なったので参加できたが、来年以降も予定が合えばぜひ参加したい。

【小倉康朗】



↑熱意溢れる亀井先生の個人レッスンに、真剣な眼差しで取り組む小倉さん。大変貴重な機会、存分に学ばれたことと思います。



↑楽しそうにテラスで談笑する先生方。実は、参加メンバーの臼井さん(左)、ピアノの加藤先生(中)は、かつて小倉さんと同時代にソルフェージュスクールで学んだ合宿仲間でもあるんですよ。こうして時を経て再び合宿で共に学び合えるとは、なんと素晴らしいことでしょう。



たくさん学んだあとは、花火大会! → 合宿には練習以外のお楽しみもたくさんです。

亀井先生によるカルテットのレッスン。→ 普段とは異なる刺激的な環境で、精いっぱい音楽を楽しみます。



## 《プログラム》

モーツァルト	弦楽5重奏曲 K.406
グラナドス	スペイン舞曲 No.5 Op.37
シューベルト	楽に寄せて D 547
エルガー	6つの易しい曲からアンダンテ Op.22
ガーデル	ボル・ウナ・カベザ
ヴィヴァルディ	4本のヴァイオリンと弦楽器のための コンチェルト Op.3-10
～全員でのコーラス～	
リセンコ	ウクライナのための祈り
ハリー・ペラフォンテ	世界をまわそう



↑プログラムの最後は参加メンバー全員でコーラスを楽しみました。先生も生徒も、年齢国籍も関係なく、かけがえない仲間になれるのがソルフェージュスクールの合宿です。





# 楽しくアンサンブル

2023年7月17日  
(月・祝)

「楽しくアンサンブル」は、器楽の経験があればレベルを気にせずどなたでも気軽にご参加いただけるアンサンブルのイベントです。今回、当学校の生徒である内藤さんとお母様が親子で参加してくださいました。

## ♪ 母娘で初参加♪

母娘でドキドキの初参加。というのも、娘は習い始めて1年のピアノ、私は何十年ぶりのヴァイオリン…とかなり楽器初心者での参加で、二人とも不安いっぱいのままアンサンブルの時間を迎えました。

娘は、ピアノの先生以外と連弾することがなかったので、他の方とたくさん弾くことができるとても楽しかったそうです。

私は、耳も劣化していたようでチューニングから音取りまで苦戦しましたが、皆さまの優しさのおかげで音を合わせる楽しさを久しぶりに味わうことができました。慣れてきた頃に終わりの時間となりとても名残惜しかったです。

短い時間でしたが、母娘で音を楽しんでアンサンブルができました。

【内藤】



ヴァイオリントリオの練習風景。普段の個人レッスンでは経験できないアンサンブルが楽しめる、貴重な機会です。

### 【レッスン曲目】

モーツァルト	カルテット	ト長調
オーラリー	ピアノ連弾	
ハイドン	トリオ	ハ長調
パッヘルベル	カノン	など



## ♪ フォローお願いします♪

ソルフェージュスクールではホームページのほか、公式 Facebook、Instagram、X (旧 Twitter) を開設しております。詳細は上記の QR コードにて [lit.link](#) をご参照のうえ、ぜひフォローをお願いします♪

### 〈感染症対策〉

新型コロナウイルス、インフルエンザが流行しています。感染予防のため、手洗い・うがい・マスク着用を心がけましょう。スクールでは、部屋の適正な湿度・温度の確保に努めています。

体調がすぐれない場合は、無理せずお休みください♪



### 【今後の予定】

#### おさらい会

10月22日(日)

#### 楽しくアンサンブル

11月23日(木・祝)

#### クリスマスコンサート

12月17日(日)

### 〈編集後記〉

今年は久しぶりに宿泊での合宿を行うことができ、6月の演奏会やさまざまなイベントも含め、心から音楽が楽しめる日々がようやく戻ってきたことを実感しています。これから秋冬に向けても、楽しいイベントが続きます。「楽しくアンサンブル」は小学3年生以上で器楽のご経験があれば、どなたでも気軽にご参加いただけます。「クリスマスコンサート」ではスクール3階のホールで素晴らしい音楽の響きをお楽しみいただけます。どうぞ皆さまお気軽にスクールへお越しください。